



—もう一つの意義—

新世代合同委員長会議

議長 井上 暎夫

年齢30歳までの若人の育成を支援する、全てのロータリー活動にスポットをあてるため、国際ロータリー (RI) は9月を「新世代のための月間」と定めております。

新世代のためのRIの常設プログラムは、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換であります。

これらは全てのロータリー年度を通じ活動が行われております。

9月にはこれらを集中して活動しようと言う事ではなく、よりいっそう焦点をあてようとする月間であります。

昨今RIでは、青少年と接する際の行動規範に関する声明 (ロータリー章典3.030.3) 虐待およびハラスメントの防止 (同章典2.110.3) の徹底に努めております。

このような事態は、そもそも会員の青少年に対する行動に起因しており、青少年の育成云々以前の問題で語る言葉ありません。

私どもは発端の青少年交換のほか財団の奨学生、学友、日本独自の米山奨学生にも配慮が必要です。

会員増強重視のRI号令?の下で会員選

考が忘れられているのではと危惧されておりますが、会員資格にある善良な成人は、少なくとも一般人よりレベルの高いものを要求されていると信じております。

もとより完璧な人格者を想定すれば私も会員たり得ないかも知れません。しかし、会員になったことでお互い切磋琢磨し、少しでも近付きたいとする向上心は大切です。

会員が役員を勤める企業での不祥事が絶えません。

職業倫理はロータリアンの根幹を成すものでありますが、職業奉仕は各々会員が自分自身を律して事業を行う責務を負っております。

この月間、各クラブにおかれましては、新世代の育成者の一員を担う会員に対してその資格者たりうるような啓蒙プログラムを組んで頂きますようお願い致します。

あまり知られておりませんが、手続要覧には『各ロータリアンは青少年の模範』という標語を、この月間中のクラブ会報や広報資料に使うよう奨励しております。

新世代のための月間は、ロータリアンの自覚によって新世代のためになるという、もう一つの意義を強調したいと思います。